



東広会ニュース

7月号

2009年(平成21年)

Vol.61

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル14F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5447)7928

E-MAIL info@tokokai.jp

〈2009年度第1四半期 媒体別売上実績〉

(単位:百万円)

媒体	2008年度 第1四半期	2009年度 第1四半期	前年比	増減
車両メディア	車内ポスター	5,823	83.9%	-939
	ADトレイン等	242	61.1%	-94
	車体広告	195	62.8%	-73
	トレインチャンネル	868	112.3%	107
計	7,128	6,130	86.0%	-998
駅メディア	駅ポスター	1,158	75.0%	-289
	SPメディア	582	94.6%	-31
	サインボード	2,305	93.5%	-150
	フリーペーパーラック 店舗ラッピング	255	83.8%	-41
計	4,300	3,788	88.1%	-512
その他(デジタルポスター・オレンジカード他)	117	191	162.8%	74
合計	11,545	10,109	87.6%	-1,436

「2009年度第1四半期売上」まとまる

2009年度第1四半期の交通媒体本部売上は、101億9百万円で対前年87.6%となった。第1四半期は4月、5月、6月とも対前年を下回る結果となった。メディア別では車両メディアが61億300百万円で対前年86.0%、駅メディアが37億88百万円で対前年88.1%となった。

■車両メディア(61億300百万円、対前年86.0%)

「3線群中づり」は、出版社の出稿減及び大口出稿が減少したことにより大幅な減収となった。「3線群まど上・ドア上」は、人材派遣企業や大口出稿が減少したこと等により減収となった。

「ADトレイン等」は、特に山手線への出稿減、「車体広告」は山手線他路線の出稿減により減収となった。

「ドア横新B」についても、景気の影響を受け減収となっている。「トレインチャンネル」は、京浜東北線への導入拡大等により、対前年を上回った。

■駅メディア(37億88百万円、対前年88.1%)

「駅ポスター」は、商品別で一般ポスター(対前年81.5%)、セット商品(対前年70.0%)と共に大幅に出稿が減少し、対前年75.0%となった。

「SPメディア」は、SPボード・シート広告等は対前年をクリアしたもの、集中貼り・イベント・自動改札ステッカー等他のSPメディアの需要減による出稿の減少が大きく、対前年94.6%となった。

「サインボード」は、東京駅耐震工事等による媒体支障や喫煙設備撤去の影響に加えて、媒体の返還が増加し、対前年93.5%となった。

新規媒体開発としては、東京駅媒体リニューアル(東京ブライトピラー、各種大型サインボード、東京中央通路電照デジタルシートセット)等を実施した。

「デジタルポスター」は、今年4月より東京駅京葉通路(10面)・品川駅中央改札(8面)、横浜駅中央通路(5面)で展開を開始し、6月1日から五反田駅(2面)、6月29日から東京駅中央通路(11面)、さらには7月1日から秋葉原駅(8面)でも展開を開始しており、今後も拡大が計画されている。

交通広告を活用し、全国各地の魅力を首都圏に発信！

交通広告を活用して、全国各地の魅力を首都圏に発信する展開が好評を得ている。最近、全国各地の自治体や観光誘致団体等が、交通広告を利用して観光スポットの魅力をアピールする展開が多くみられる。

最近の主な事例を紹介すると、中央線快速には「福井観光連盟」が車体広告を展開するとともに、新宿駅東口改札内の大型ボード広告、電照シート広告、駅イベントを行った。

山手線では、「JR東日本×東北観光推進機構」と「富山県」が車体広告を展開した。さらには、山手線・中央線快速・京浜東北線に「函館市」によるトレインチャンネルが展開された。



福井県の車体広告(上)と新宿駅でのイベント風景(下)



函館市のトレインチャンネル



富山県の車体広告



JR東日本×東北観光推進機構の車体広告

〈展開内容〉

■福井県観光連盟

・車体広告…中央線快速(1編成)

7月6日(月)～8月2日(日)

・新宿北通路ワイドボード

7月1日(水)～7月15日(水)

・新宿アルプス広場電照シート広告

7月9日(木)～7月15日(水)

・新宿駅イベント 7月11日(土)

■JR東日本×東北観光推進機構

・車体広告…山手線(2編成)

6月15日(月)～7月11日(土)

■富山県

・車体広告…山手線(2編成)

6月20日(土)～7月17日(金)

■函館市

・トレインチャンネル…山手線・中央線快速・京浜東北線 6月22日(月)～6月28日(日)

中小企業庁が品川駅・東京駅・大宮駅・横浜駅の4駅でイベントを同時展開！

経済産業省中小企業庁は、品川駅・東京駅・大宮駅・横浜駅の各駅イベントスペースにおいて、「地域の魅力セレクトショー2009」を開催した。

これは、豊かな資源と事業者の創意工夫を活かした魅力ある地域産品が、大規模消費地で販路開拓・拡大となることを目的としたキャンペーンである。「キラリと光るモノがある」と題して、全国から集まったこだわりの産品が、展示紹介・販売された。

展開場所は、品川駅(中央改札内)・東京駅(丸ノ内地下)・大宮駅(西口改札外)・横浜駅(西口イベントスペース)で、4駅同時開催された。

各駅イベントの実施時期は、東京駅・大宮駅・横浜駅で7月3日～7月5日と7月17日～7月19日。品川駅では、7月2日～7月5日と7月16日～7月19日。



品川駅でのイベント展開



柱ごとにデジタルポスターの意匠を変更した三井ガーデンホテルズの展開

三井ガーデンホテルズが東京駅電照デジタルシートセットで広告展開を実施！

三井ガーデンホテルズは、7月13日(月)から7月26日(日)まで東京中央通路電照デジタルシートセットを使用した広告展開を実施している。

東京駅中央通路の6本の柱に、デジタルポスター11面・電照シート広告10面を使用した広告展開が可能であり、駅利用者にはアテンション効果抜群のメディア特性を有している。

三井ガーデンホテルズは、デジタルポスターの特長を活かし、表示される広告意匠をデジタルポスター毎に切り替え、インパクトのある展開を行った。

東京駅で駅ポスターを集中展開「東京ブライトピラー」



東京ブライトピラー(読売新聞東京本社の意匠)

東京駅にある駅ポスターセット「東京ブライトピラー」は、東京駅八重洲中央改札に面した丸柱をジャックできる媒体。LED光源を上下に配し、反射防止加工を施したカバーを装着してポスターをより引き立てることができる。

ポスター枠は、B0サイズで42面となっており、新幹線乗り換え口にも面しているため、ビジネス・観光といった駅利用者に対してアピールできる。

6月22日(月)からは伊藤園、7月6日(月)からは任天堂、7月13日(月)からは読売新聞が展開をしている。

■東京ブライトピラー
 掲出枚数…B0×42枚 または、
 B1×84枚
 掲出期間…1期(7日間) または、
 4期(28日間)

JR秋葉原駅ホーム上に新たな「アドショップ」が登場！



秋葉原駅に登場した「アドショップ」

7月18日(土)にJR秋葉原駅総武線5番線ホーム上に、広告と店舗を組み合わせた「アドショップ」が登場した。広告主は株式会社ブシロードで、TCG(トレーディングカードゲーム)のプロモーション及び販売が行われている。

「アドショップ」は、自動販売機コーナーをリニューアルし活用するものであり、開店時にはTCGの販売店として、また閉店時には大型ショーケースとして展開している。

〈店舗概要〉
 1. 店舗名…「ブシロードTCGステーション」
 2. 展開期間…2009年7月18日(土)～2010年7月17日(土)
 3. 営業時間…平日11時～21時 土日祝10時～20時

ミニ新聞付きポスターが首都圏に展開！



JR渋谷駅の「ミニ朝日新聞」付きポスター

渋谷駅をはじめとする首都圏の駅に、ミニ新聞の付けられたポスターが登場した。広告主は、株式会社朝日新聞社。

「ミニ朝日新聞」は、3つのテーマについて書かれた記事を過去の掲載分から抜粋し、再編集したものである。ポスターにこのミニ新聞が貼られ、駅利用者には自由にお持ちいただける仕組みとなっている。ミニ朝日新聞は毎日補充されるため、多くの駅利用者にはミニ新聞を楽しんでいただけの展開となった。

掲出期間は、7月13日(月)～7月19日(日)の1週間。

各種委員会が開催される

駅ポスター・SP委員会(第1回)

開催日 平成21年7月8日(水)
主な議題

- ・「交通媒体本部」売上概況
 - ・第1四半期販売状況
 - ・2009年度東京駅特別セット
 - ・2009年夏期特別企画
 - ・休業KIOSKラッピング広告
- (2)委員会の活動
- ・当面の課題
 - ・2010年度販売施策の協議、決定

(3)具体的進め方

・分科会の組織づくり
等々活発な討議が行われた。

分科会の座長に駅ポスターは奥石栄作氏(株JICC)、SPメディアは小池実氏(株弘亜社)の両名が選任され、媒体社と広告会社が一体となつて今後の課題等に取り組んでいくことと了承された。

総務委員会(第2回)

開催日 平成21年7月9日(木)
主な議題

- (1)「交通媒体本部」売上概況
- ・第1四半期販売状況
- (2)報告事項

・「東広会HP」ホスティングサーバの変更

・第3回ボウリング大会実施結果

・新入社員研修の募集活動状況

・第11回ゴルフ大会

等が報告された。

各項目について内容を含め討議が行われた承された。

サインボード・安全委員会(第1回)

開催日 平成21年7月15日(水)
主な議題

- (1)「交通媒体本部」売上概況
 - ・第1四半期販売状況
 - ・2009年セットボードセールス情報
 - ・注目再販媒体のご案内
 - ・返還、再販売上集計(月別)
- (2)委員会の活動
- ・当面の課題
 - ・2010年度販売施策の協議、決定
- (3)具体的進め方
- ・分科会の組織づくり
 - 等々活発な討議が行われた。

分科会は委員長の稲川一氏(株文宣)をはじめ10名の構成で、媒体社と広告会社が一体となつて今後の課題等に取り組んでいくことと了承された。

車両メディア委員会(第1回)は7月31日(金)14時からJ企7階会議室で開催される。

「広告関係事故防止会議」を開催

JR東日本東京支社主催の平成21年度「広告関係事故防止会議」が東京・田端の東京支社大会議室で7月9日(木)14時から開催された。

会議には協力会社46社154名をはじめ総勢165名の参加者があった。会議に先だち主催者を代表してJR東京支社事業部長中川喜光氏、続いてJ企交通媒体本部長田之上恵氏から挨拶があった。会議では事故事例の紹介、広告会社幹部から自社の安全への取り組みとして「過去の事故事例からの教訓」についての説明があり、またパネラーによる「広告事故0を目指して!!」のディスカッションが行われ、参加者は安全への取り組みについて熱心に聞き入っていた。



パネラーによるディスカッションを真剣に聞き入る参加者

会員名簿変更

・社名・代表者変更 (7月1日付)
(新) 株ジェイアール東日本高架サービス
(旧) 葉高商事(株)
代表取締役社長 綿引 勝一氏
〒110-0007
東京都台東区上野公園16-20
電話 03-3822-9511
FAX 03-3822-9513

代表者変更

(株)日広通信社 (5月26日付)
代表取締役社長 福山 達雄氏

(株)ルミネアソシエーツ (6月23日付)
代表取締役社長 小澤 裕氏

(株)東急アド・コミュニケーションズ (6月24日付)
代表取締役社長 西村 友伸氏

(株)交通新聞社 (6月25日付)
代表取締役社長 江頭 誠氏

ジェイアールバス関東(株) (6月26日付)
代表取締役社長 万代 典彦氏

(株)エスシー開発 (6月26日付)
代表取締役社長 齊藤 一郎氏

(株)毎日広告社 (6月26日付)
代表取締役社長 渡辺 良行氏

横浜新都市サービス(株) (6月29日付)
取締役社長 小谷 昌氏